

あなたを守る社会を創ります！



市民が主人公

日野市議会議員 無所属 6期

「無料低額診療」市立病院も実施を！

「無料・低額診療」とは、医療機関が、国保法に基づき、患者の窓口負担を、その所得に応じて「無料」、あるいは「減額」する制度です。減免基準は、病院ごとに異なりますが、収入が、「生活保護の120%未満の方は無料」、「120%以上140%未満の方は減額」が、平均的です。

「都内に54、三多摩に15ある医療機関を、市民に周知する事」と、「市立病院自体が無料低額診療に登録する事」を、求めました。

「窓口負担が払えない事による手遅れ死亡事例が増えている中、市が取り組む「SDGS=持続可能な社会づくり」のためには、こうした制度こそ必要ではないか？」

「インフルエンザ ワクチン」

「高齢者には補助があるのだから子どもにも補助を！」と、要求するも、市は、「子どもを対象とする気はない」と答弁。



平和が一番！

冷房の電気代に 補助を！

今夏、熱中症で死亡した方が、7月29日からの、たった1週間で、57人（全国）に上りました。「冷房代の節約」で我慢しているうちに、手遅れとなってしまう事を防ぐために、「低所得層への夏季見舞い金を出して欲しい！」と要望

学校現場の工夫を！

- ・教材費の保護者負担軽減を
 - ・副読本の備品化
 - ・お習字箱、お道具箱の備品化
 - ・制服のリサイクル化
- 以上は、予算がかからず、やろうと思えば、すぐにできる取り組みとして、提案させて頂きました。

お習字箱、お道具箱の備品化

「障害者の初乗り料金に準じて、一枚650円券」とし、「減額なし」

「今年度から、障害者団体への相談も無く、タクシー券の一人当たり支給額が、いきなり減額となりました。」

